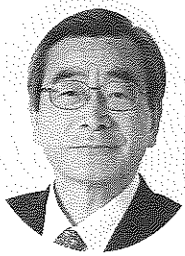


福島退公連 会報

発行日 令和5年(2023年)4月20日
 発行者 室井 勝
 発行所 福島県退職公務員連盟
 〒960-8043 福島市中町5-21(消防会館)
 TEL・FAX 024(522)0612



ご挨拶

会長 室井 勝

令和5年度を迎え、会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

退公連活動の通常化

昨年度は、継続するコロナ禍のため県大会は中止せざるを得ませんでした。退公連としては、他は計画通り実施することが出来ました。更に、11月には、臨時の事務局長・組織部長会議を開催し、コロナ禍の中で空洞化が懸念される退公連活動について、熱心な協議をいただきました。

各支部においては、これまでコロナ禍の中で「出来るだけのことはやる」という姿勢で、お取り組みを頂いてきたことに対し感謝申し上げます。

しかしながら、継続する会員の減少という大きな流れの中で、コロナ禍も加わり日公連・退公連は、今、活性化に向けての課題が山積しています。一日も早く活動を通常通りとし、会員加入の促進をはじめ組織の強化を図らなければなりません。

令和5年度は、是非、活動を「通常通り」に戻していただくことをお願い致します。

日公連・退公連の要望について

要望は、私たちの生の声を届ける大切なツールです。

この際重要なことは「社会保障制度の改革に当たっては年金生活者の負担が過重にならないこと」と年金財源の多くを保険料として負担している「現役世代を大事にすること」であります。

また、要望を実現するためには日公連・退公連に「力」がなければなりません。

「数は力」です。組織の強化に取り組まなければなりません。併せて、社会貢献活動などに取り組む姿勢を見せ、社会的認知を高めなくてはならないと思います。「退公連頑張っているな」と思っていたかどうかです。是非よろしくお願い致します。

日公連・退公連の創立以来70数年間の活動の成

果を「今、私たちが享受」しています。これを、より良い制度にして、「次世代に引き継いでいくこと」は私たちの責務です。皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思えます。

なお、令和5年3月3日、日公連は、総務大臣に対し「諸物価の高騰」による厳しい状況への対策を講じるよう緊急要望を実施致しましたので申し添えます。

昨年度は、119名の新入会員をお迎え出来ました。心から歓迎いたします。各支部の組織強化へのご尽力にお礼申し上げます。

一方、会員総数が4,824名と、前年に比し262名減少致しました。会員の皆様には、あらゆる機会をとらえ絆をフルに活用され、会員勧誘に取り組んでいただきますようよろしくお願い致します。

高齢会員の皆様には、長期間にわたる退公連へのご貢献に感謝申し上げます。皆様には、是非、まだまだ退公連に留まって頂きたいと思えます。

退公連は、皆様の年金をはじめ社会保障制度の維持のためこれからも活動します。皆様から頂く会費は、このための大切な財源です。一緒に活動しているとの想いを持って、是非、会員に留まって頂くことをお願い致します。

忘れもしないあの東日本大震災並びに原子力発電所の重大事故から、はや12年が経過致しました。

「私たちは忘れません。あなた方を！」を心に、被災・避難会員との絆を継続して参ります。

最後に、何よりも会員皆様のご健康を祈念致します。

併せて、人生100年時代を見据え「人の役に立っていると思うとうれしい」との声があるように、この退公連が「社会貢献・自己実現・生きがい・・・の場」になることを希望してご挨拶と致します。

令和5年度 評議員会

令和5年度の評議員会は、4月18日(火)に開催され、令和5年度の事業計画・歳入歳出予算案が承認されました。

〈事業計画の基本方針〉

1. 組織創立の原点に戻り、会員勧誘の推進、事業の見直し等を積極的に推進する。
2. 会員勧誘に当たっては職域ごとにきめ細かく、職場地域をはじめ、あらゆる人脈を総動員して行う。
3. 年金等の社会保障制度の現状や課題の広報・周知と要望活動を実施する。
4. 社会・公共のニーズにも配慮した福祉関連事業・社会貢献活動を推進する。
5. 東日本大震災後12年経過したが、被災・避難会員との連携と絆を強める。

令和5年度 主な事業計画の概要

月 日	年間行事予定
4月18日	評議員会(各支部長等)
5月15日	第1回理事会(会長・副会長等)
5月22日	支部連絡会議(各支部事務局長・組織部長・女性部長等)
8月	国会議員への夏期要望活動
8月18日	第2回理事会(会長・副会長等)
9月28日	東北地区協議会
10月24日	国会議員への要望活動(会長・3支部代表等)
10月25日	日公連全国大会(会長・3支部等)
12月8日	第3回理事会(会長・副会長等)
3月15日	第4回理事会(会長・副会長等)

〈令和4年度 歳入歳出決算の概要〉

[歳入の部] 単位 円

科 目	決 算 額	付 記
1. 支部負担金	5,055,890	会費収入
2. 繰入金	300,000	積立金からの繰入
3. 繰越金	948,245	前年度からの繰越
4. 諸収入	456,466	手数料等
歳入合計	6,760,601	

[歳出の部] 単位 円

科 目	決 算 額	付 記
1. 事務費	3,786,083	事務経費等
2. 負担金	620,000	日公連分担金等
3. 事業費	1,768,747	
(1)役員会費	231,224	理事会開催経費
(2)全国大会費	319,650	全国大会参加経費
(3)県大会費	90,339	開催中止、実行委員会開催
(4)事業活動費	646,545	支部連絡会議等
(5)会報発行費	455,620	会報4回発行費
(6)表彰慶弔費	25,369	百歳賀寿贈呈
4. 積立金	0	
5. 予備費	0	
歳出合計	6,174,830	

歳入歳出差し引き額 585,771円は次年度へ繰り越し

〈令和5年度 歳入歳出予算の概要〉

[歳入の部] 単位 円

科 目	予 算 額	付 記
1. 支部負担金	4,765,000	会費収入
2. 繰入金	200,000	積立金からの繰入
3. 繰越金	585,771	前年度からの繰越
4. 諸収入	433,000	手数料等
歳入合計	5,983,771	

[歳出の部] 単位 円

科 目	予 算 額	付 記
1. 事務費	3,538,000	事務経費等
2. 負担金	583,000	日公連分担金等
3. 事業費	1,662,771	
(1)役員会費	220,000	評議員会・理事会等
(2)全国大会費	200,000	大会参加経費
(3)県大会費	0	
(4)事業活動費	682,771	支部連絡会議等
(5)会報発行費	460,000	会報4回発行費
(6)表彰慶弔費	100,000	支部表彰等
4. 積立金	200,000	県大会開催経費
5. 予備費	0	
歳出合計	5,983,771	



退公連活動への思い



郡山支部 女性部長 半沢 和

会員となり早20年、長いこと活動に参加できたことは私の喜びであり宝。場を与えられたことに感謝している。持ち寄った花で会場を飾り県女性部長さんはじめ来賓を迎えて開催した総会の頃がなつかしい。H25年頃より役員の高齢化が目立つようになり、その対策に努めながら組織や活動の見直しを図り活動してきた。

令和となり心新たに願う矢先のコロナ禍は活動をさらに難しくしている。活動制限が続いた3・4年度は、社会の動向を注視判断しながら“今、何が出来るか…”考慮しつつ、4年度は次のような活動をしてきた。

◇女性部会：総会を簡素化するも研修や交流の場を設けた。研修は「知って得するくらしの話」(消費者相談員)被害者にならないための消費力や持続可能な社会に向けたエシカル(倫理的)消費について学んだ。これを機に視野を広げ理

解を深めて生活に生かしていくことの大事さを実感した。交流会では会員による「体操で元気に」ウォーキング・リズム体操の後、病気に効くつぼの実技。日頃の運動不足もあり意欲的な参加で盛り上がり“楽しかったね、またね”の声に安堵した。

◇ふれあいコンサート：“音楽の力で元気に”の願い込め2回目。H28年に支部活動の充実や組織の活性化を図ることがねらいで結成した合唱クラブとソプラノ歌手による三部構成のジョイントコンサート。当日は会員の他市民の方にも参加してもらい楽しみな行事になっている。

◇他に、絵手紙発送(参加できない先輩の方へ)第33回せいわ園施設訪問(3年間は代表訪問)を実施した。

創立来70数年、時代の波に対応し多大な貢献を積んできた退公連を誇りに思う。今、様々な課題に直面しているからこそ一層結集し、持てる力で集い次に繋げる活動に努めたいと願っている。

私の時間

『Tさんと出会って』



岩瀬支部 副支部長 安藤 勇 司

少年の心のまま、大人になってしまったような人。年齢は私より13歳上の79歳。今は陶芸家。若い頃からアウトドアが好きで、登山や釣り、キャンプ等を楽しんでいたという。旅行も好きで日本各地をキャンピングカーで幾度も走っている。

退職したら自然に関わる活動をしたいと考えていた折、偶然に彼と出会い、彼の趣味や行っている活動に心惹かれ影響を受けていった。

第一は、日本自然保護協会の自然観察指導員の資格を取得したこと。その後、小・中学生の野外観察や登山の引率を依頼されるが、資格があることと上手にできることは別で、まだまだ研鑽を積まないと子どもたちに申し訳ない。

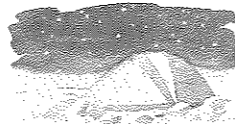
第二は、「自然観察の会ふくしま」の会員となり、ほぼ毎週土曜日に開催される観察会に極力参加していること。開催場所によってリーダーを任せられるようになったが、参加者が次回も参加したいと感じてくれる会の運営は難しい。

第三は、須賀川の「遊水会」に所属し、主に川

の生物調査を通して、小・中学生が環境について考える活動をサポートしていること。初めこわごわ川の生き物を採集していた子ども達が、途中から服が濡れるのもお構いなしに楽しそうに活動する姿に、同定の技術を高めなければと気持ちが引き締まる。

第四は、これが一番楽しいのだが、彼と東北そして福島県の山を中心に登ったり歩いたりすること。2時間で登れる山も、彼と私が登ると3時間かかる。それは年老いているからではなく、自然観察会が始まってしまふから。双眼鏡やルーペ、植物図鑑などが活躍する。

自然の中にいる時の彼の表情は喜々として、まさしく少年そのものである。彼から多くのことを学ばせてもらっている。私は密かに「相棒」と呼んでいるが、彼が居なくなったら心に開いた穴をどう埋めようか絶望的な気持ちになる。少しでも長く一緒に活動したい。(ちなみに彼が亡くなった時には、私が弔辞を読むと伝えられている。)



<年金情報コーナー>

年金制度の国際比較

フランスで、年金支給開始年齢を62歳から64歳に引き上げるなどの政府の改革案に反対するデモが行われているとの報道がありました。先進国の場合、少子高齢化に年金制度をどう対応させていくのが課題のようです。

各国の年金制度はその成り立ち経過からそれぞれですが、保険料の負担、賦課方式など基本的な枠組みは同じです。以下、日本とイギリス、ドイツ、フランスとの比較です。

(以下、2022年厚生労働省資料「主要国の年金制度の国際比較」から抜粋)

	制度体系	被保険者	保険料率 (一般被用者の場合)	支給開始年齢	最低加入 期間	財政方式
日本		全居住者	厚生年金保険 18.3% (労使折半) 国民年金 月額16,590円 (定額)	厚生年金保険 ・男性：64歳 ・女性：62歳 (注)男性は2025年度までに、 女性は2030年度までに 65歳に引上げ予定 国民年金(基礎年金) 65歳	10年	賦課方式
イギリス		一定以上の所得のある居住者	25.8% (本人：12.0% 事業主：13.8%)	66歳 (注)2028年までに67歳に引上げ予定 (注)2046年までに68歳に引上げ予定	10年	賦課方式
ドイツ		居住している被用者は原則加入	18.6% (労使折半)	65歳11か月 (注)2029年までに67歳に引上げ予定	5年	賦課方式
フランス		無業者を除き居住者は原則加入	17.75% (本人：7.30% 事業主：10.45%)	満額拠出期間を満たす場合 62歳 満額拠出期間を満たさない場合 67歳	なし	賦課方式

++++【事務局だより】++++

5月22日(月) 支部連絡会議
場所 ビッグパレット

福島県退職公務員連盟では、5月中のホームページの開設を目指して準備を進めております。

会員をはじめ多くの方々がホームページにより、退公連の活動状況などを確認いただけるようになります。

各支部での各種取組等ご紹介できるようになりますので、是非ご活用ください。

◎今後の予定

5月15日(月) 第1回理事会

編集後記

東日本大震災から12年が過ぎました。未だ多くの会員の方々が県内外での避難生活を強いられています。「私たちは忘れません あなた方を」新型コロナの感染から3年が経ちました。令和4年度の退公連活動は、ほぼ計画通り実施出来ました。今年度は、全ての計画が実施できるようになってほしいと思います。